

2026 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 浅 古 有 寿
(コード番号 7832 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 辻 隆 志
(TEL：03-6634-8800)

2027 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 13 日に公表しました 2027 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	610,000	84,000	87,000	60,000	93.55
今回修正予想 (B)	690,000	124,000	130,000	90,000	140.33
増減額 (B-A)	80,000	40,000	43,000	30,000	—
増減率 (%)	13.1	47.6	49.4	50.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	643,816	105,481	110,196	78,909	121.91

(2) 修正の理由

2027 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間につきましては、IP の世界観や特性を活かし、最適なタイミングで、最適な商品・サービスとして、最適な地域に向けて提供することで IP 価値の最大化をはかる「IP 軸戦略」を各事業の連携により推進しました。事業面では、トイホビー事業が国内外において各カテゴリーが好調に推移したことなどにより収益が大きく伸長しました。IP 展開においては、ガンダムシリーズ等の定番 IP の商品・サービスが力強い存在感を発揮しました。グループ全体では、幅広いカテゴリーと多彩な IP によるポートフォリオが効果を発揮しました。この結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、前年同期を大きく上回りました。

2027 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値につきましては、当第 1 四半期連結累計期間の業績が好調に推移したことに加え、足元の市場環境や各事業の動向、第 2 四半期連結会計期間の商品・サービスのマーケティング計画等を踏まえ、2026 年 5 月 13 日に公表しました予想数値を修正いたします。

なお、2027 年 3 月期通期の連結業績予想数値につきましては、見直しを行っておりません。国内外における市場

環境やファンの嗜好の変化、競争環境の激化等の外部環境の状況、さらには第3四半期連結会計期間以降に予定している大型の家庭用ゲームタイトルの販売動向や、年末年始の大型商戦の動向等を踏まえた上で、通期連結業績予想数値を精査いたします。

以 上

＜報道機関からの本件に関する問い合わせ先＞
(株)バンダイナムコホールディングス
コーポレートコミュニケーション室
TEL：03-6634-8787